

中央大学国際センター主催 2022 年度 秋学期 TOEIC 講座 **TOEIC 入門コース** シラバス

- コースの説明…2022 年度春学期に開講していた同名のコースと同内容です。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>TOEIC の概要を知り、本番で慌てないようにするための基礎講座です。全 7 回の講座で、TOEIC テストの頻出語句を概観し、本番よりやや易しめの模擬試験 1 回分を解きます。単語学習・問題演習を通して、今の力で解ける問題を探し、その問題に確実に正解するための解法や、今後の学習の仕方などを学びます。TOEIC を受験したことがないが気になる、受験したことがあるが、対策をしたことがない、近いうちに初めての受験を予定していて、準備無しで受験するのが心配といったみなさんに向けたコースです。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEIC テスト全体に関する入門的な知識を得る ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>500 点</p>
<p>使用テキスト (2 冊)</p> 	<p>① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版、979 円) ※『金フレ』と呼ばれることが多いです。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② (問題集) 早川幸治・ロス・タロック『新形式問題対応 TOEIC テスト 直前対策模試』(語研、1,100 円) https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-312-1 ※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをさせていただいており、割引価格で購入できます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。</p>
<p>1 回の授業の流れ</p>	<p>次項に示したスケジュールに沿って、単語学習 (毎週範囲を決めて単語テストを行いますので、事前の準備をお願いします) と模試問題集の学習 (予習不要です) を進めます。1 回の授業で大体大問 (TOEIC では Part と呼びます) 1 つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。ご了承ください。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>□ 予習…単語テストの準備をお願いします。単語テストの範囲は次のページのスケジュールを参考にしてください。模試問題集の予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、模試問題集の解き直しなどをお勧めします。</p>
<p>注意事項</p>	<p>① 対面形式での授業を予定しております。manaba などのオンラインツールを補助的に使用する場合は講師より案内があります。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、必ず初回の授業までにテキストをご準備ください。 ③ 教科書の問題の方には、書き込みをしない方が復習の際便利です。書き込みは解説ページにしましょう。 ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。500 点を前提として授業を進めますが、大切なことは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● 講座のスケジュール…こちらに示した単語帳・模試問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加える場合がありますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「**金フレの範囲**」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式です。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分で解き終えることを意識してください。

② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC頻出語1000語(1-1000番)、その補足として付録が5部(Supplement 1-5)収録されています。**このTOEIC入門コースでは、本編の1番~700番と、Supplement 1-3をテストします。**つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 3」とあるものはSupplement 3がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

※ 下表「**模試問題集のパートと問題番号**」について…**模試問題集は予習不要**です。授業中に一緒に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。授業の状況により、扱いきれないこともあるかと思えます。その場合、宿題または次回の学習範囲となります。

授業週	金フレの範囲	模試問題集のパートと問題番号		模試問題集・講義のポイント
Week 1	① 1-200 ② Supplement 1	Part 1 & 2	1-31	・オリエンテーション ・ TOEIC テストリスニングセクション概論 ・ Part 1 と Part 2 のスコアアップのコツ (このコツのことを、test-taking strategy と言います)
Week 2	① 201-400 ② Supplement 2	Part 3	32-70	・ Part 3 の test-taking strategy
Week 3	401-500	Part 4	71-100	・ Part 4 の test-taking strategy ・ リスニングセクションまとめ
Week 4	① 501-600 ② Supplement 3	Part 5	101-130	・ TOEIC テストリーディングセクション概論 ・ Part 5 の test-taking strategy
Week 5	601-700	Part 6 Part 7 (1)	131-146 147-157	・ Part 6 の test-taking strategy ・ Part 7 の test-taking strategy (シングルパッセージ前半について)
Week 6	Supplement 4	Part 7 (2)	158-175	・ Part 7 の test-taking strategy (シングルパッセージ後半について)
Week 7	Supplement 5	Part 7 (3)	176-200	・ Part 7 の test-taking strategy (マルチプルパッセージについて)

以上です。よろしくお願ひします。

● コースの説明・・・2022 年度の新設コースです。春学期に後楽園キャンパスで開講した「語彙・リスニング強化コース」と同内容、「語彙・リーディング強化コース」の姉妹コースです。姉妹コース「語彙・リーディング強化コース」は 春学期に後楽園キャンパスで開講していましたが、秋学期に多摩キャンパスで再び開講します。ご参考になさってください。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>全 7 回で TOEIC 頻出の語彙と TOEIC リスニングセクション全体を概観するコースです。このコースの特色は、TOEIC テストのいわゆる「テクニック」だけではなく、英語の音の規則を学びながら、リスニングセクションのスコアアップを目指すという点です。TOEIC 受験経験がない方、あるが少ない方、割とあるがスコアが停滞している方など、幅広い層の受験者が抱えるリスニングの弱点にアプローチするコースです。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEIC テストの語彙を知る ② TOEIC テストリスニングセクションの問題形式とスコアアップのコツを知る ③ 英語の音の規則を学び、TOEIC のリスニングセクションの聞き取りに活用できるようになる ④ 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>600 点</p>
<p>使用テキスト (2 冊)</p> 	<p>① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版、979 円) ※『金フレ』と呼ばれることが多いです。同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の文法』等と間違えないようにお買い求めください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732</p> <p>② (問題集) 八島晶著、『八島式 TOEIC テストの英語が聞こえるようになる本』(旺文社、1,980 円) ※姉妹編、『読めるようになる本』があります。お買い求めの際はご注意ください。このシラバスや授業では、『八島式』と呼ぶことが多いです。テキストには、「対象 600 点以上」とありますが、あまり心配しないでください。 https://www.obunsha.co.jp/product/detail/094893</p> <p>※ 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。 中央大学生協書籍部の TOEIC コーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをしていただいております。割引価格で購入できます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。</p>
<p>1 回の授業の流れ</p>	<p>次項に示したスケジュールに沿って、単語帳と問題集の学習を行います。当日扱う問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>□ 予習…次頁の案内に従って、単語テストの準備をしておいてください。問題集の予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。</p>
<p>注意事項</p>	<p>① 対面形式での授業を予定しております。manaba などのオンラインツールを補助的に使用する場合は講師より案内があります。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。 お手数ですが、必ず初回の授業までにテキストをご準備ください。 ③ 上記の目標スコアはあくまで目安です。600 点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● 講座のスケジュール…こちらに示した単語帳・問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「**金フレの範囲**」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式です。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分で解き終えることを意識してください。

② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC頻出語1000語(1-1000番)、その補足として付録が5部(Supplement 1-5)収録されています。**この語彙リスニング強化コースでは、本編の1番~1000番と、Supplement 1と2をテストします。**つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 1」とあるものはSupplement 1がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

※ 下表「**『八島式』の範囲**」について

問題集『八島式…』は予習不要です。授業中に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。予習不要ですが、『八島式』の方は**全てを授業時間中に扱いきれない可能性が高いです**。その場合、講師の判断により、宿題または次回の学習範囲となります。『八島式』に関して、下表には、**7週で授業と自習を組み合わせ教科書を終わらせるように、1つの学習モデルとして、宿題となる可能性が高い範囲やその週に進むLesson数も記します。**効果的な学習のために、少々タフでややこしいスケジュールですが、どうかお付き合いください。

授業週	金フレの範囲	『八島式』の範囲・宿題・学習量			講義のポイント	
Week 1	① 1-200 ② Supplement 1	Part 1	授業	Lesson 1-3	3つ	・オリエンテーション ・Part 1の概要&スコアアップのコツ ・カタカナ英語/母音挿入等
			宿題	授業で扱いきれなかった箇所	-	
Week 2	① 201-400 ② Supplement 2	Part 1	授業	Lesson 5-6	2つ	・聞き取りのポイントとなりそうな英語の子音と母音
			宿題	Lesson 4と7	2つ	
Week 3	401-600	Part 2	授業	Lesson 1-3	3つ	・Part 2の概要&スコアアップのコツ ・カタカナ英語で覚えている単語/弱形等
			宿題	授業で扱いきれなかった箇所	-	
Week 4	601-700	Part 2	授業	Lesson 4-6	3つ	・聞こえなくなってしまう音 ・イギリス英語・アメリカ英語
			宿題	Lesson 7	-	
Week 5	701-800	Part 3	授業	Lesson 1-2	2つ	・Part 3(と4)の概要&スコアアップのコツ ・これまでの学習のまとめとしてのPart 3と4
			宿題	Lesson 3-4	2つ	
Week 6	801-900	Part 4	授業	Lesson 1-2	2つ	・Part 1や2を通して学習した英語の音の復習 ・これまでの学習のまとめとしてのPart 3と4
			宿題	Lesson 3-4	2つ	
Week 7	901-1000	Part 3	授業	Lesson Part 3と4の5(練習問題)	2つ	【注意】Part 3とPart 4のLesson 5(練習問題)はこの日にまとめとして学習します。宿題ではありませんのでご注意ください。
		Part 4	宿題	授業で扱いきれなかった箇所	-	

以上です。ご苦勞をおかけしますが、どうぞよろしく申し上げます。

● コースの説明・・・2022 年度の新設コースです。春学期に後楽園キャンパスで開講した「語彙・リーディング強化コース」と同内容、「語彙・リスニング強化コース」の姉妹コースです。姉妹コース「語彙・リスニング強化コース」は春学期に後楽園キャンパスで開講していましたが、秋学期に多摩キャンパスで再び開講します。ご参考になさってください。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>全 7 回で TOEIC 頻出の語彙を概観し、多くの受験者が苦手とするリーディングセクションの Part 7 を集中的に学習するコースです。このコースの特色は、TOEIC テストのいわゆる「テクニック」だけではなく、リーディングセクションの難関を比較的ゆっくり学ぶことで、TOEIC の「世界観」や、受験者が躓きやすい文法・言い回しを理解してしっかり身につけるとい点です。TOEIC 受験経験がない方、あるが少ない方、割とあるがスコアが停滞している方、リーディングでいつも足を引っ張られている方など、幅広い層の受験者が抱えるリーディングの弱点にアプローチするコースです。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEIC テストの語彙を知る ② TOEIC テストリーディングセクション Part 7 の問題形式とスコアアップのコツを知る ③ Part 7 の英語を通じて、受験者自身の弱点を発見し、Part 5 や 6 のスコアアップのヒントを得る ④ 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>600 点</p>
<p>使用テキスト (2 冊)</p> 	<p>① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版、979 円) ※『金フレ』と呼ばれることが多いです。同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の文法』等と間違えないようにお買い求めください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732</p> <p>② (問題集) 八島晶著、『八島式 TOEIC テストの英語が読めるようになる本』(旺文社、1,980 円) ※ 姉妹編、『聞こえるようになる本』があります。お買い求めの際はご注意ください。このシラバスや授業では、『八島式』と呼ぶことが多いです。テキストには、「対象 730 点以上」とありますが、あまり心配しないでください。 https://www.obunsha.co.jp/product/detail/094998</p> <p>※ 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講前後に採用テキストの取り扱いをしていただいております。割引価格で購入できます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。</p>
<p>1 回の授業の流れ</p>	<p>次項に示したスケジュールに沿って、単語帳と問題集の学習を行います。当日扱う問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>□ 予習・・・次頁の案内に従って、単語テストの準備をしておいてください。問題集の予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習・・・講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。</p>
<p>注意事項</p>	<p>① 対面形式での授業を予定しております。manaba などのオンラインツールを補助的に使用する場合は講師より案内があります。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、必ず初回の授業までにテキストをご準備ください。 ③ 上記の目標スコアはあくまで目安です。600 点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● **講座のスケジュール**…こちらに示した単語帳・問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「**金フレの範囲**」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は**要予習**です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式です。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分で解き終わることを意識してください。

② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC頻出語1000語(1-1000番)、その補足として付録が5部(Supplement 1-5)収録されています。**この語彙リーディング強化コースでは、本編の1番～1000番と、Supplement 3-5をテストします。**つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 3」とあるものはSupplement 3がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。**Supplementに関して、割愛(1と2)している部分と、テスト範囲が多少前後する部分(Supplement 3)がありますので、お気を付けてください。**

※ 下表「**『八島式』の範囲と概略**」について

問題集『八島式…』は**予習不要**です。授業中に計時して解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。予習不要ですが、**全てを授業時間中に扱いきれなかった場合、講師の判断により、宿題または次回の学習範囲**となります。どうかご容赦ください。

授業週	金フレの範囲	『八島式』の範囲と概略		その他講義のポイント
Week 1	1-200	Lesson 1	第4文型を正確に読む・架空の情報だからといって日付を無視しない	TOEIC リーディングパート概論 Part 7 紹介
		Lesson 2	文構造と品詞の見分け	
Week 2	① 201-400 ② Supplement 4	Lesson 3	多義語をどうするか・正解の根拠が少なすぎる場合何が起こるか	シングルパッセージのコツ
		Lesson 4	英語は時間にうるさい・位置選択問題と英語のパラグラフ	
Week 3	① 401-600 ② Supplement 5	Lesson 5 & 6	関係詞・Eメールは得点源だけれど…	※この日は3章進みますのでちょっと大変です。
		Lesson 7	代名詞は地味だが大切	
Week 4	601-700	Lesson 8	ちょっとひと休み・正解マーカー (1)	
		Lesson 9	ちょっとふた休み・正解マーカー (2)	
Week 5	① 701-800 ② Supplement 3	Lesson 10	接続副詞・空目しやすい単語	マルチプルパッセージのコツ
		Lesson 11	正解根拠が現れる順番 (リスニングにも使えるテクニック)	
Week 6	801-900	Lesson 12	情報がいっぱいあって面倒くさい時どう読むか・そんなところに正解が!	
		Lesson 13	対比と列挙は単語/文法的にどう違うか・文書間の関連性	
Week 7	901-1000	Lesson 14	ややこしい条件がある情報をどう読むか・TOEICに計算は必要か	
		Lesson 15	あれこれ属性がある情報をどう読むか・選択肢分析・そしてこれから	

以上です。どうぞよろしくお願ひします。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>全 7 回の講座で、本番と同レベル、あるいは時に少し難しいリーディングセクションの問題を TOEIC2 回分 (200 問) 学習する上級者向けのコースです。このコースでは、分析的な問題演習を行い、リーディングセクションにおける弱点の克服と目標スコア達成を目指します。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEIC テストのリーディングセクションについて知識を得る ② 高い正答率達成のための分析的な問題演習・自律的な学習ができるようになる</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>860 点～</p>
<p>使用テキスト (1 冊)</p> 	<p>YBM TOEIC 研究所『TOEIC テスト YBM 超実践模試リーディング 500 問 Vol. 1』(朝日出版、2,200 円+税) https://www.asahipress.com/bookdetail_lang/9784255011882/ ※ リーディングセクションの模擬試験 5 回分 (Test 1-5) が入ったテキストです。授業ではこのうちテキスト前半の 2 模試 (Test 1 と 2) を講師の判断で量や解説に調整を加えながら学習します。初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。コピーの配布はありません。開講が近くなると、例年中央大学生協書籍売場の TOEIC 参考書コーナーで取り扱っていただいております。割引価格で購入できます。取り寄せも可能かと思えます。また、一般の書店・ネット書店でも在庫していることが多いと思えます。比較的入手はしやすい書籍ですが、市中の書店の場合、1 つの書店に何冊も在庫がある本ではありません。お早めのご準備をお願いいたします。</p>
<p>1 回の授業の流れ</p>	<p>授業で扱う問題は授業中に解く時間を取りますので、基本的にはその時間に初見で問題を解くということでは構いません。ただし一定の時間では切ります。時間内に終わらないと思う人は、①授業前に一度解いて二度目を授業中にもう一度解く ② 授業前に一部を解いておく などして、解説が始まるまでには全問を解き終わっているようにしてください。扱うパートについては manaba にスケジュールを掲載します。問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、扱いきれなかった問題は翌週に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。</p>
<p>注意事項</p>	<p>① 対面形式での授業を予定しております。事務連絡と資料アップロード等に manaba を使用します。 ② 質問は授業前後、授業中に直接してももちろん構いませんが、直接質問しづらい場合は、manaba のコレクションからでも結構です。その場合は、回答を返信するのではなく以降の授業中にその回答も含めて話をするようにします。</p>

- ③ **テキストのコピー、PDFの配布等の準備はありません。必ず初回授業までにテキストをご準備ください。**
- ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。目標860点～900点台を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

中央大学国際センター主催 2022年度 秋学期 TOEIC 講座 **中級リスニング演習コース** シラバス

● コースの説明…春学期に後楽園キャンパスで開講した「語彙・リスニング強化コース」の応用・演習コースです（しかし、春学期のコースの出席を前提とはしていませんので、秋学期に初めて受講される方、公式問題集の学習に興味がある方も受講を歓迎します。ご安心ください）。また、木曜5時限目に開講される「中級リーディング演習」コースはこのコースの姉妹編で、同じテキストを使用してリーディングセクションの学習をします。ご参考になさってください。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>全7回の講座で、TOEICテスト頻出の語彙を概観しつつ、最新の公式問題集 (vol. 8) のリスニングセクションを学習します。本番同様の問題演習を通じて、リスニングセクションで良いスコアを獲得するためのコツを学びます。また、受講者一人一人が自身の弱点を発見する手助けをし、今後の学習のヒントを得られるような短期講座を目指します。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEICテストリスニングセクションについて幅広い知識を得る ② 講座後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>600点</p>
<p>使用テキスト (2冊)</p> 	<p>① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版、979円) ※『金フレ』と呼ばれることが多いです。同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の文法』等と間違えないようにお問い合わせください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② ETS『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 8』(国際ビジネスコミュニケーション協会、3,300円) ※ 最新版の8を使用します。紫色の表紙です。 https://www.iibc-global.org/toeic/support/prep/lr_ud_08/pr.html ※ 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講前後に採用テキストの取り扱いをしていただいております。割引価格で購入できます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。</p>
<p>1回の授業の流れ</p>	<p>授業開始時に単語テストを行います。テスト範囲は、次頁に示してありますので準備をしてきてください。その後やはり次項に示したスケジュールに沿って、公式問題集に収録された問題を少しずつ解きます。こちらは予習不要です。授業中に解いて振り返ります。1回の授業で大体大問 (TOEIC では Part と呼びます) 1つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌週に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>□ 予習…単語テストの準備だけをしてきてください。単語テストの範囲は、次のページに記します。公式問題集は授業中に一緒に解いて復習をしますので予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。</p>
<p>注意事項</p>	<p>① 対面形式での授業を予定しております。manabaなどのオンラインツールを補助的に使用する場合は講師より案内があります。 ② テキストのコピー、PDFの配布等の準備はありません。お手数ですが、必ず初回の授業までにテキストをご準備ください。 ③ 上記の目標スコアはあくまで目安です。600点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● 講座のスケジュール…こちらに示した金フレ（単語帳）・公式問題集 8（問題集）の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「**金フレの範囲**」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式です。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分で解き終えることを意識してください。

② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC頻出語1000語（1-1000番）、その補足として付録が5部（Supplement 1-5）収録されています。**この中級リスニング演習コースでは、本編の1番～1000番と、Supplement 1-2をテストします。**つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 2」とあるものはSupplement 2がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

授業週	金フレの範囲	公式問題集 8 のパートと問題番号			講義のポイント
Week 1	① 1-200 ② Supplement 1	Test 1	Part 1	1-6	・オリエンテーション ・TOEIC テストリスニングセクション概論 ・Part 1 のスコアアップのコツ（このコツのことを、test-taking strategy と言います）
Week 2	① 201-400 ② Supplement 2	Test 1	Part 2	7-31	・Part 2 の test-taking strategy
Week 3	401-600	Test 1	Part 3	32-70	・Part 3 の test-taking strategy ・リスニングセクションまとめ
Week 4	601-700	Test 1	Part 4	71-100	・Part 4 の test-taking strategy ・リスニングセクションまとめ
Week 5	701-800	Test 2	Part 1 & 2	1-31	演習中心の授業内容です
Week 6	801-900	Test 2	Part 3	32-70	演習中心の授業内容です
Week 7	901-1000	Test 2	Part 4	71-100	演習中心の授業内容です

●（参考）講座後に

授業では問題集を1回しか解くことができませんが、公式問題集のような良質の模試は3回繰り返して解くとよい（「3回法」と呼ばれています）と言われています。価格の面からも（公式問題集は公式ではない模試と比較して高価です）、「公式問題集は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用法をお知らせします）：

1回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが1つもないようにする

2回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（復習効果を狙う）

3回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）

以上です。

中央大学国際センター主催 2022年度 秋学期 TOEIC 講座 **中級リーディング演習コース** シラバス

● コースの説明…春学期に後楽園キャンパスで開講した「語彙・リーディング強化コース」の応用・演習コースです（しかし、春学期のコースの出席を前提とはしていませんので、秋学期に初めて受講される方、公式問題集の学習に興味がある方も受講を歓迎します。ご安心ください）。また、木曜6時限目に開講される「中級リスニング演習」コースはこのコースの姉妹編で、同じテキストを使用してリスニングセクションの学習をします。ご参考になさってください。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>全7回の講座で、TOEICテスト頻出の語彙を概観しつつ、最新の公式問題集（vol. 8）のリーディングセクションを学習します。本番同様の問題演習を通じて、リーディングセクションで良いスコアを獲得するためのコツを学びます。また、受講者一人一人が自身の弱点を発見する手助けをし、今後の学習のヒントを得られるような短期講座を目指します。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEICテストリーディングセクションについて幅広い知識を得る ② 講座後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア（目安）</p>	<p>600点</p>
<p>使用テキスト（2冊）</p> 	<p>①（単語帳）TEX加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（朝日新聞出版、979円）※『金フレ』と呼ばれることが多いです。同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の文法』等と間違えないようにお問い合わせください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② ETS『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 8』（国際ビジネスコミュニケーション協会、3,300円） ※ 最新版の8を使用します。紫色の表紙です。 https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep/lr_ud_08/pr.html ※ 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場のTOEICコーナーに例年開講前後に採用テキストの取り扱いをしていただいております。割引価格で購入できます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。</p>
<p>1回の授業の流れ</p>	<p>授業開始時に単語テストを行います。テスト範囲は、次頁に示してありますので準備をしてきてください。その後やはり次項に示したスケジュールに沿って、公式問題集に収録された問題を少しずつ解きます。こちらは予習不要です。授業中に解いて振り返ります。1回の授業で大体大問（TOEICではPartと呼びます）1つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌週に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>□ 予習…単語テストの準備だけをしてきてください。単語テストの範囲は、次のページに記します。公式問題集は授業中に一緒に解いて復習をしますので予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。</p>
<p>注意事項</p>	<p>① 対面形式での授業を予定しております。manabaなどのオンラインツールを補助的に使用する場合は講師より案内があります。 ② テキストのコピー、PDFの配布等の準備はありません。お手数ですが、必ず初回の授業までにテキストをご準備ください。 ③ 上記の目標スコアはあくまで目安です。600点を意識して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● 講座のスケジュール…こちらに示した金フレ（単語帳）・公式問題集 8（問題集）の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「**金フレの範囲**」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。問題は1範囲につき10問・選択式です。解答時間等は講師が指示しますが、3-5分で解き終えることを意識してください。

② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC頻出語1000語（1-1000番）、その補足として付録が5部（Supplement 1-5）収録されています。**この中級リスニング演習コースでは、本編の1番～1000番と、Supplement 3-5をテストします。**つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 3」とあるものはSupplement 3がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

授業週	金フレの範囲	公式問題集 8 のパートと問題番号			講義のポイント
Week 1	① 1-200 ② Supplement 3	Test 1	Part 5	101-130	・オリエンテーション ・TOEIC テストリーディングセクション概論 ・Part 5 のスコアアップのコツ（このコツのことを、test-taking strategy と言います）
Week 2	① 201-400 ② Supplement 4	Test 1	Part 6	131-146	Part 6 の test-taking strategy
Week 3	① 401-600 ② Supplement 5	Test 1	Part 7 (1)	147-175	Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージについて）
Week 4	601-700	Test 1	Part 7 (2)	176-200	Part 7 の test-taking strategy（マルチプルパッセージについて）
Week 5	701-800	Test 2	Part 5 & 6	101-146	演習中心の授業内容です
Week 6	801-900	Test 2	Part 7 (1)	147-175	演習中心の授業内容です
Week 7	901-1000	Test 2	Part 7 (2)	175-200	演習中心の授業内容です

●（参考）講座後に

授業では問題集を1回しか解くことができませんが、公式問題集のような良質の模試は3回繰り返して解くとよい（「3回法」と呼ばれています）と言われています。価格の面からも（公式問題集は公式ではない模試と比較して高価です）、「公式問題集は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用方法をお知らせします）：

1回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが1つもないようにする

2回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（復習効果を狙う）

3回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）

以上です。